
ファンタジーな辞書

水得 龍

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

ファンタジーな辞書

【Nコード】

N0892R

【作者名】

水得 鼈

【あらすじ】

世界のモンスターを集めてみた。

メジャーものから

マイナーなものがいっぱいあるよ。

みんな知りたいものが

あれば、感想やらレビューに書いて下さい。

初めて「しゆじ」の書くので読み「くねば」しめんなら。

『キメラ』又は『キマイラ』 ギリシヤ神話編！（前書き）

初めてまして、雑魚々（ザコウオ）と申します。

初めて書くので色々と至らない所がありますが、楽しんでくれれば、嬉しいです。

『キメラ』又は『キマイラ』

ギリシヤ神話編！

キマイラ

合成獣科

キマイラとは、みんなが思い浮かべるとおり、キメラ（合成獣）の原型である。

キマイラは古くは、ギリシヤ神話の中に出てくる怪物である。

頭は立派なたてがみを持つライオン、胴は山羊、尾は蛇（毒蛇の場合もあり）という、複数の動物の特徴を組み合わせている。（実はこれには諸説あり、胴体までがライオン、その胴に山羊の首が生えていると言われている。私的にはこちらの方がかつこいと思う）

また、彼女のおもしろい所は複数の物を融合させた物でありながら、その血筋は実は純粹な怪物になる。さらに彼女は実は雌であるという所であろうか。

父はゼウスに一度は勝利した『テュポーン』という巨人であり、母は数々の怪物の生みの母と名高い『エキドナ』である。

彼女はカリア王国という国で、国王『アミソダレス』に育てられた。

ここで育てられた彼女はなんとも、やんちゃ？に育ち、そして育った場所に近いリキュア火山を住処として暴れまわったのであった。

彼女はその能力は高く漫画でみる雑魚とは比較にならないほどす

ごい。

何せ、怪力で足も速く、火山帯の足場の悪い所でも自在に動き回り、さらに、口から高熱の息（それか火炎）をはくと言われて、まさに遠近両対応の戦闘力を備えていた。

まあ、ドラゴンほどではないが、かなり強いことは確かである。

彼女倒すには、彼女に負けない機動力と火炎を封じる手段が必要となる。

この手段を得たのが、ベレロポンという勇者であった。

この勇者はカリア国王の命令で倒すことになり、ゼウスからあのペガサスを騎乗用に借り、彼女の熱い息を利用した作戦に出た。

槍の先に鉛の塊をつけて、彼女の口に放りこんだのである。

苦しくなり彼女が息をはくとその鉛が溶けて喉を塞ぎ、窒息死してしまったという最後を迎えたのである。

『キメラ』又は『キマイラ』 ギリシャ神話編！（後書き）

参考書・Gakken発行『世界の幻獣狩猟file』
など

地獄の番犬『ケルベロス』ことケロちゃん

ギリシヤ神話編！（前書き）

今回は、ケルベロス。

地獄の番犬『ケルベロス』ことケロちゃん ギリシャ神話編！

ケルベロス

合成獣科

ケルベロスは、ギリシャ神話に出てくる冥王『ハデス』に仕える冥界の扉を守る番犬である。

彼は冥界に入ってきて来るものは受け入れるが、出て行く亡者には容赦なく襲いかかるといふ。

彼の特徴的な容姿はよく知られているとつり、三つの頭を持つという所にあるが、実は更にたてがみのように蛇が生えて、さらに尻尾はドラゴンであるという話もある。

また、彼はテュポーンとエキドナの間に生まれた怪物であり、彼は前の話に記したキマイラとは、兄弟であるんだ。

まあ、その扱いの差は泥雲の差があるけどね……
さて、ケルベロスの役割はさっき書いたとつり亡者を冥界の門から出ないように見守ること。

そのためか、彼は足が速く、さらには怪力であるらしい。

頭も三つあるので死角はなく、一睡もせず見張り続けることができるやら、頭の一つが見張りをして残り二つが寝ているという話も聞いたことがあるから、どちらかといわれると多分後者だろう。

これらの話からケルベロスの目を盗んで地獄を抜け出すのは非常

に困難で、まさに究極の門番である。そのために、人々は地獄の番犬とよびケルベロスを恐れた。

ただし、ケルベロスは二度冥界への生者の侵入を許したことがある。

1人はあの大英雄、ヘラクレス。このヘラクレスとの戦いでは、激闘の末にヘラクレスに締め落とされてしまったが、そのさいにケルベロスのヨダレが地面に垂れてしまって、そこからトキカブトが生まれたといわれているんだ。

もう1人は豎琴の名手と名高い、詩人オルフェウスだ。

彼は最愛の妻が死んでしまい、取り戻そうと冥界に逝くんだ。

当然のことながら、ケルベロスと対峙する事になったのだが、彼は音楽を奏でてケルベロスを眠らしてしまったんだ。

その後、彼はハデスと会いまた名演奏を奏でて妻を返してもらったけど、ハデスに冥界から出るまでけっして振り返るなという誓いを破り、失敗してしまっただ。

ちなみにこの話は、あの『ハリーポッターと賢者の石』でハグリットの飼っていたケルベロスにも、使われているんだ。

まあ、役割を忘れるほどの豎琴の名人でなければならぬから、もし冥界に逝くときは、豎琴を練習してからの方がいいと思われる。

地獄の番犬『ケルベロス』ことケロちゃん

ギリシヤ神話編！（後書き）

参考書は前と同じ。

オルトロスはいいつの兄貴！

ギリシヤ神話編！（前書き）

2 連続投票

オルトロスはあいつの兄貴！

ギリシャ神話編！

オルトロス

合成獣科

ギリシャ神話に登場する、双頭の犬である。体毛は闇のように黒く、首の周りには無数の蛇（7匹の蛇とも、7種類の蛇ともいわれている）がたてがみの洋に生えている。

また尻尾も、大蛇になっている。

また、こいつは多くの怪物を産んだ、毎度おなじみエキドナとテュポーンの息子であり、あのケルベロスの兄貴である。

また、妹であるキマイラと結婚して、ネメアの獅子などの怪物の父親にもなっているのだ。

うん、ケルベロスよ。リア充の兄貴をもってよかったな！

さて、気を取り直して、二つの首を持つこいつも、また番犬の役割をしている。

こいつは、エリュテリアの島で、三位一体の巨人ゲリュオーンに飼われ、さらにゲリュオーンが飼っている牛達の群れを見張っている。

ん？今誰かケルベロスより、しょぼいと言わなかったかい？

だがな、こいつの戦闘力はケルベロスと同じなんだ！

牧場の番犬にケルベロスと同じ戦闘力を置くのはおかしいと思うが、彼はケルベロスよりは、マシな職場だとおもう。

何せ、地獄はジメジメしてて体に悪そうだし何よりも、地獄には余り美味しそうな物はなさそうだ。

これに対して、オルトロスは島と言えど、太陽の当たる場所にいるし、きつとご主人からは美味しいご飯をもらっているに違いない！

嫁さんもいて、すみごちよい所にいて、さらに飯もうまいときたらもう、文句は無いだらう！

ただ、彼の最後はかなり可哀想なんだ、あのヘラクレス持っていた棍棒で殴り殺されるんだ。

実際に倒すとなるとは刃物などの攻撃は通じてにくく、打撃で倒されているからかなりの腕力が必要であるから、ヘラクレス以外なら負けなかったと思われるオルトロスに一言

おお、おるとろすよ

しんでしまつとは、なさけない……………

オルトロスはいいつの兄貴！

ギリシヤ神話編！（後書き）

本と記憶から

俺の血は一味違つぜ！』ヒドヲラ『又は』ヒュドヲラ』

ギリシヤ神話編！(前書

ちよつとマイナーかな？

俺の血は一味違つぜ！』ヒドドラ『又は』ヒュドラ』

ギリシャ神話編！

ヒドドラ

ドラゴン科

蛇・多頭

ギリシャ神話に出てくる怪物の1人でヘラクレスの十二の試練の一つに出てきたたくましい生命力を持つ子。そして、おなじみのエキドナとテュポーンの子。

ある文献には9〜100の頭を持つといわれており、その血は猛毒であるといわれているのだ！

その強さは後のエピソードでは書こうと思うが、この子の特徴を書こうと思う。

彼の最大の特徴はその頭の数であろう。

同じ頭の数なら、兄弟であるケルベロスやキマイラ負けないような頭数であるが、彼の頭数はこんなモノじゃない！

なつ、なんと、1つの頭を切り落とすと切り口から2つの頭が生えてくるのだ！

さらに真ん中にある、首は不死身と来た！

このおかげで、ヘラクレスはかなり苦戦し一度は引いたんだけど、ちなみに彼の住処はひっそりとした沼で毒々しくところだけど、

人間達に気を使ってくれたとしか思えないこの場所にわざわざヘラクレスは来たんだよね。お疲れ様だね！

ヘラクレスは彼を倒すために自分の甥に巨大な松明を持たせて、首を切ったあとその切り口を焼かせたのだ！

ひっ酷いよ！ヘラクレス！首を斬るだけならまだしも、根性焼きをするなんて！

しかし、ヘラクレスに十二の試練を与えたヘラは、ここで援軍を差し向けるのだ！

それはカニ！大きな蟹であつた。

まあ、蟹はヘラクレスに踏みつぶされてしんでしまうのだけどね

……

その後も根性焼きを続けられた、ヒドラは最後の首一つになつてしまつたが、これは不死身の最強さんだ！

さあ、ヘラクレスよ！どうするのだ！？

フハハハ！

と、思つたのもつかの間、岩を投げて下敷きにしてしまうのだ。

ひつ酷いよ

さすがに正義酷い！

そんなことがあつて、哀れに思つた女神ヘラはカニとヒドラは星座になつたのだ。

ちなみに、カニはかに座でヒドラはウミヘビ座になつたといわれている。

ヘラクレスは持つていた、矢をヒドラの血に浸したんだ。

ヘラクレスはこの矢で多くのピンチを乗り越えるのだが、不死身である師ケイロンは不死身を神々に返上してまでこの毒の痛みから逃れたかつたようである。

しかもヘラクレスはヒドラの血によつて死んだのである。

これはヒドラの呪いかな？

蛇の呪いは怖いね。

俺の血は一味違つぜー！』ドドドド』又は』ドドドド』

ギリシヤ神話編！（後書

どうでしたか？

たのしめたらとわいわいです。

北欧の引き立て役にして、最大の敵「ロキ」(前書き)

久しぶりの更新。

制作約3日間、時間かかりすぎだお。

(´・`・´・`)

参考書物

セブナイレブンで買った本当は怖い世界の神話

世界の神話がわかる本

など

北欧の引き立て役にして、最大の敵「ロキ」

ロキ

巨人族

ロキをご存知の方も多いとおもう。

そう！

北欧神話に出てくる、最高神オーディンの義兄弟にして、巨人族の末裔のロキである。

何故、ロキは敵対する一族なのに、最高神オーディンの義兄弟になつたのか？

それはオーディンが放浪している時に、偶然ロキと出会いそして、お互いが気に入ったからでだったんだ。

たぶん、同じような性格をしているからだろうとおもう。

さて、ここでロキの性格を教えようと、それは嘘つきで悪戯者。

彼の容姿は、一言で言うなれば「イケメン」。

しかし、こんなやつが北欧神話での役割は、極めて大きいのだ。

なにせ、オーディンの武器である神槍グングルは、ロキによつてもたらされたものであるし、さらに最強の武器の一角であるトールの鎚も、ミュッルニルもこのロキのおかげで手に入れることができたと言つてもいいくらいなのだ。

ちなみにこの武器やほかにも神々が持つ魔法のアイテムは、全て北欧神話に出てくる小人ドワーフが作り出したものであり、それをロキはほとんど騙したり、奪つたりしてていたんだ。

しかし、ロキが持つてくるのは良い事ばかりではない！むしろ悪いことが多いのだ。

ロキは何度も神族をピンチに追い込んでいるし、フェンリル、ヨムンガンド、ヘルなども強敵を生み出しているし、テールという戦神の奥さんと　　をしていたり、しているのである。（ただ、

これを差し引いてもロキがもたらした恩恵は大きかったりする）
ちなみにロキに関するはなしでこんな者がある。

ある日、ロキは巨人族に捕まり巨人族はロキにトールが持つミュッルニルを盗ってくるように命令したんだ。

ロキは、命令どおりにミュッルニルを盗ってくると無事に釈放されたが次はトールが怒って、ミュッルニルを取り返すように命令する。

巨人はミュッルニルを返す代わりに、フレイヤと言う女神を要求してくるんだ。

当然、フレイヤは差し出せれるわけも無く。

ここで思いついた方法は、凡人の我々には思いつかない神の考えであった。

それは雷神トールをフレイヤに変装させて、潜入した所を巨人族を殲滅するという方法だ。

ちなみにトール農夫たちの神様であり、赤髭の大男で大食漢という姿対してフレイヤはあらゆる女神の中で最も美しいと称えられるほどだ。

これをどう変装させたかは、わからないがさらにローブみたいな物を深く被らせて、結婚式に向かった。

あとは口八丁で巨人達を騙して、ミュッルニルを婚姻の道具と使うと騙して持ってこらしたあとトールが無双した。
という結末である。

この話でわかるように、ロキは悪事をして最終的には神達には+になることが多かったのだから良かったのだが、ある一つの事件をきっかけにロキは神達に閉じ込められることになったんだ。

光の神バルドルの殺害であった。

ロキはオーディンの息子であらゆる神々にちやほやされていたバルドルを激しく憎んでいた。

バルドルの母親フリッグはバルドルの死を恐れてヤドリギの若木を除く全ての物に彼を傷つけないように約束させたんだけど、ロキはこの情報を仕入れてしまったんだ。

そのあとロキはヤドリギの若木をもって来て盲目の神ヘズにヤドリギを渡しバルドルに投げさせたのだ。そして、バルドルは死んでしまったのだ。

その後も神々はバルドルを冥界から連れ戻そうとするがロキはそれらをコツカツな手段で邪魔をして全てをおじゃんにしてしまったのだ。

しかも、気分が良くなつたのか続いて海神イーギルの宴に乱入し、神々に中傷を浴びせたので、神々はプツツンと堪忍袋が切れてしまったのだ。

神々の怒りを向けられたロキは逃亡したのだがオーディンに捕まってしまうのであった。

ここからが酷い、ロキの息子の内臓で暗い洞窟内の岩に括り付けられたのである。

ここで終わればまだ良かった。

しかし、オーディンはロキの頭上に毒蛇が括り付けられ、その牙から毒液が常に顔に滴り落ちていたのだ。

ロキに誠実な二番目の妻シギユンは毒を鉢で受け止めていたのだが、鉢の中に溜まった毒を捨てに行くとかだけ毒をまともに受け取ってしまうので激しく苦痛に身をよじって苦しんだんだ。

地上の地震はロキの苦しみともされているらしいんだ。

やがて神々の最終戦争ラクナロクが起るとロキは解き放たれ、神々を憎む彼は巨人族につき、アースガルズつまりは神々が住む世界に攻め込み、その番人をしていたヘルダイルと死闘を繰り広げたのだが、相打ちで倒れてしまったのだ。

これは個人的な感想なのだが、ロキは寂しかったからイタズラを試してみんなの気を引いていたのではないのか？

そう思えて仕方がないんだ。

北欧の引き立て役にして、最大の敵「ロキ」(後書き)

他に何かあったら募集しますよ

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n0892r/>

ファンタジーな辞書

2011年11月16日21時16分発行